

解答

《一》

問一 法律的には何の問題もなく、人々の生き死にも関係ない

問二 ホ

問三 言語道断

問四 所有できないはずのものに自分のものだという意識が働くこと。

問五 社会的承認

問六 自然に対する人のかかわりは多様であり、そのかわりのどこまでが社会的に承認されているのかについても、その承認のされ方についても実に多様である、ということ。

問七 ホ

問八 a 浴（びた） b 細心 c 拾（った） d 座（った） e 状態

《二》

問一 ロ

問二 未成年の「私」が食べるサヴァランにお酒が使われていたという問題。

問三 サンタクロースが本当にいると信じているということ。

問四 ホ

問五 ニ

問六 「私」は自分の思いこみに対する感想として「甘かったなあ」とつぶやいたが、楽さんはそのつぶやきをサヴァランの味の感想だと思って返答したところ。

問七 楽さんとのやりとりの中で、人の考え方の多様性に気づかされ、その発見を幸せに思いながらも、同時にそれまでの自分は他人の考え方を決めつけてしまっていたことを理解し、後ろめたさも味わって、大人に近づく貴重な経験をしたというような意味。

《三》

① 育（む）

② 供（えて）

③ 守秘

④ 講（じた）

⑤ 個展

⑥ 至宝

⑦ 功罪

⑧ 過労

⑨ 検討

⑩ 背徳

⑪ 去就

⑫ 根幹

⑬ 固辞

⑭ 通底

⑮ 望外